

オウム真理教対策 第50回 抗議デモ・学習会

5月10日(土)

◆抗議デモ 午後1:30 集合
烏山区民センター前広場

◆学習会 午後2:30 開会
烏山区民センターホール

手話通訳あり

入場無料

烏山地域
オウム真理教対策
住民協議会

◎講演「犯罪を起こさせないためには!!」

講師：^{かり}假^や谷^{みのる}実氏

新全国犯罪被害者の会(新あすの会) 副代表幹事

目黒公証役場事務長逮捕監禁致死事件の被害者(假谷清志氏)の長男



ひとたび犯罪被害者となると、元には戻れません。
死んだら生き返りません。体の傷は一生残ります。心の傷も
一生残ります。
犯罪被害者等給付金として国が被害者のために使う金額は、
加害者の200分の1程度。国民一人当たり10円未満です。

〔略歴〕

2000年1月に岡村勲氏らと全国犯罪被害者の会(あすの会)を設立し、被害者の権利の確立と被害の回復を求め、2008年の被害者参加制度などの司法制度改革、2014年の犯罪被害者等基本法(基本法)の制定に影響を与え、2018年6月に解散するまで活動した。

しかしながら、基本法に基づく基本計画によっても被害の回復が進んでいない実情から、2022年3月に新全国犯罪被害者(新あすの会)を再結成した。



令和6年5月11日の抗議デモ

主催：烏山地域オウム真理教対策住民協議会

後援：世田谷区

オウム真理教が起こした地下鉄サリン事件から3月20日で30年がたち、当協議会の活動も教団信者の転入以来24年が過ぎました。時間の経過とともに事件のことなどが忘れ去られることを懸念しています。

今後この紙面で、これまでの長年にわたる活動の振り返りなどを連載してまいります。

1. 発端

2000年12月21日だった。その日、烏山上町会では12月の役員会があり、50名ほどが会議に参加をしていた。会の準備をしている最中、突然区役所関係の人が、集会所に入ってきて「大変です、アレフが入りました！」と言ったのです。オウム真理教がアレフに名前を変えたとは知らなかったで、「アレフって何?」そんなリアクションでした。誰かが「オウム真理教だ!」と言ったので大騒ぎになった。

その人の話では、12月18日、終業時すれすれに13か所の世田谷区の出張所窓口に別々に住民登録があり、その13人は皆同じ住所になっている。そのことに気付いた区役所の人が現地調査をしたところ、そのマンションの大家はオウム真理教を入れたと言ったそう。明けて1月9日、我々住民は黙っていられるはずもなく、烏山区民センターホールで第1回目の反対集会が開催された。会場の定員385人に対し700名以上が詰めかけて、オウム真理教対策住民協議会が設立された。

区役所内部でも大騒ぎとなり、相手がオウム真理教と解り、一度受理した住民票を不受理とした。13人のオウム真理教信者は、世田谷区が一度受理した住民票を不受理にしたことに対し、世田谷区を相手どり裁判を起こした。この裁判は高等裁判所まで戦ったが、世田谷区の敗訴が確定することになった。

世田谷区役所では管理職を中心にチームを組み、日中の監視をしてくれていた。協議会では、組織が出来たばかりで監視活動も個人個人がばらばらに行っている状態だった。成城警察もすでに警察官の巡回をはじめていた。

募金への御礼

地下鉄サリン事件から30年が経ちました。オウム真理教が南烏山に転居してから25年、住民協議会は、発足当時から監視活動、抗議デモ・学習会、署名・募金活動、そして協議会ニュースの発行を柱に活動を継続してきました。今年度も、その活動をいつも支えて下さっている各町会・自治会より多くの募金のご協力をいただきました。心より御礼申し上げます。

また、各地域のお祭りやイベントでも快く募金活動の場を設けて下さり、皆様からの労いのお言葉にいつも励まされ活力をいただいております。お心遣いに深く感謝しております。

これからは、オウム真理教が起こした事件を知らない若い世代への周知と風化防止へ向けての活動が重要だと考えております。今後ともご支援、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

* 今年度も募金にご協力いただきまして、ありがとうございました *

松原地区町会・自治会連合会、烏山地域町会自治会連合会、上北沢地区町会自治会連合会、上祖師谷地区町会自治会連合会、烏山地区町会・自治会連合会、上祖師谷自治会、祖師谷橋自治会、成城通りパークウエスト自治会、粕谷会、粕谷2丁目アパート自治会、給田町会、烏山上町会、烏山中町会、烏山下町会、千駄山町会、児ヶ谷会、北烏山2丁目アパート自治会、給田南住宅自治会、親和会、コートヒルズ久我山自治会、烏山北住宅自治会、個人3名(令和7年2月25日現在)

大学新入生に注意喚起!

オウム真理教から派生したアレフ、ひかりの輪、山田らの集団だけでなく、様々なカルト教団が大学生を勧誘しようと、新入生が大学に多く集まるこれからの時期に活動を活発にする恐れがあります。

そのため、オウム真理教勧誘に対する注意喚起リーフレットを、住民協議会と世田谷区で共同作成し、世田谷区内の大学の意向を確認して5大学(6キャンパス)の大学新入生向けに配付しました。今年は、社会的に大きな問題となっている闇バイトへの注意喚起チラシを世田谷区が作成し、リーフレットと合わせて大学に送り新入生に配付しています。

リーフレットは、新入生に、オウムが起こした事件の経過やカルト教団の勧誘の手口、欺されやすい人の特徴などを伝えて、

カルト教団に引き込まれないよう呼びかける内容となっております。

あなたは大丈夫?

これらは欺されやすい人の特徴です! 誰でも被害者になり得ます!

- 動画やネットなど、なかなか解れない
□ 勧誘や仲介で人を判断してしまう方法
□ どんなに失敗しても次があると思う
□ 言いやじりチャームが好き
□ 誰かに悪い人はいないと思う
□ 謙虚な人になりたがる
□ おだてに乗りやすい
□ 高感や理想からの誘いに断れない
□ 謝ってでも金を取って欲しい
□ どんな相手からの勧誘でも断れず乗る

オウム真理教が起こした凶悪事件を知っていますか?

オウム真理教は、麻原彰晃と本間繁美が教団・創始者として設立した宗教団体で、かつて、同人の指示のもと、宗教法人を設立し、さらには武装化を図り、地下鉄サリン事件や数々の凶悪事件を引き起こしました。

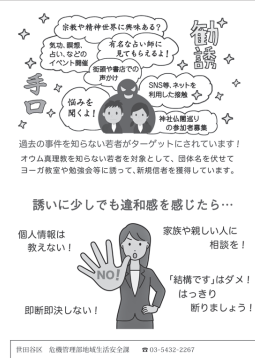
1995年、教団本部は建設され、教団本部12名とともに2018年、オウム真理教は「アレフ(アレフ)」「ひかりの輪」「山田らの集団」に分裂しましたが、教団の本質は変わらず、その中の「ひかりの輪」は世田谷区に本部を置いて活動をしています。

そのため、世田谷区と地域住民(オウム真理教対策住民協議会)は、一体となって平穏な生活を取り戻すための活動を行っています。



Table with 2 columns: Year, Event Name. Includes 1984年2月 オウム真理教の会 設立, 1987年7月 オウム真理教、凶悪事件, 1989年2月 信者殺人事件, 1991年11月 坂本神楽坂一家殺人事件, 1994年1月 信者殺人事件, 1995年5月 信者殺人事件, 1996年6月 信者殺人事件, 1997年7月 信者殺人事件, 1998年12月 信者殺人事件, 1999年1月 信者殺人事件, 2000年2月 オウム真理教から「アレフ」に名前変更, 2007年5月 「ひかりの輪」の設立を告, 2018年1月 オウム真理教による一帯の事件による被害状況, 2019年7月 教団本部を代表する13名の執行部

名前を変えてもオウムはオウム!! 公安調査庁作成「オウム真理教関連に関する啓発動画」オウム真理教が引き起こした地下鉄サリン事件・地下鉄サリン事件や、現在のオウム真理教の活動状況などについて、分かりやすく説明されています。



ホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

協議会ホームページアドレス <https://www.karasuyama-kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。

